

## 頑張った努力称え 出場の全員を表彰 スペシャルオリンピックス

(1面から続く) Fu'sスノーエリア会場  
で受け付けやボランティアの配置手配な  
どを担当した市川敏明さん(63)は、5  
年前から月2、3回、札幌市の観光ボラ  
ンティアを務めています。

この大会には登録しているさっぽろグ  
ローバルスポーツコミッションのスマイ  
ル・サポーターズとして応募し参加しま  
した。スペシャルオリンピックス  
(SO)のボランティアは初めて。

「正直いって身体障害のパラリンピックのイメージし  
かなく、知的障害者の大会だということが参加して初め  
て理解できました。選手、その家族、大会運営者、ボラ  
ンティアが皆さん笑顔で一生懸命頑張っている姿に感動  
しました」といいます。

知的障害のあるアスリート(選手)がその可能性を最大  
限発揮できるよう、SOの競技会はさまざまな工夫が施  
されています。その一つがディビジョニング(グループ  
分け)です。

個人競技では年齢、性  
別、予選の成績などでほぼ  
同じ競技能力レベルになる  
よう組み分けされ、参加し  
たアスリート全員が決勝に  
進みます。

各ディビジョン(8人以  
内)のアスリート全員が表  
彰台に上がり、1位から3位  
まではメダルを、4位以下は  
リボンを授与され、また失  
格となっても参加賞リボン  
が贈られます。成績にかか  
わず全員が称賛されま  
す。

また団体競技ではアス  
リートのみのチームのほか、  
障害のあるアスリート  
と健常者(パートナー)が  
混成チームをつくって、成



スキーを履いて選手に寄り添って活動するアスリート支援ボランティア

績を競うだけでなく、お互いに理解し支え合う関係を築  
いていくユニファイドスポーツ®と呼ばれる方法も取り  
入れられています。

職場がSOにかかわっているので2年前からボランティ  
アに参加しているという山本絢也さん(34)は「夏は経  
験があるが冬は初めて。アスリートの競技レベルが高い  
のに驚いています。知的障害のある人たちと接すること  
で新しい世界が開かれた思い。あらためて自分が何をで  
きるか、何をしたらよいのか、いろいろ考えさせられま  
す。来年の全国大会(ナショナルゲーム)にも参加しま  
すし、できれば世界大会にも行ってみたい」と意欲を燃  
やしています。

### 札幌など3市5会場 来年2月には全国大会開催

北海道で初開催となる2020第7回スペシャルオリン  
ピックス日本冬季ナショナルゲーム・北海道は、2020年  
2月21日から23日まで7競技にアスリート650人、役員・  
コーチ、審判650人、ボランティア2,000人の規模で開催  
されます。

会場は開会式と閉会式が札幌市中央体育館、アルペン  
スキー、スノーボードがFu'sスノーエリア、フィギュア  
スケート、ショートトラックが真駒内セキスイハイムア  
リーナ、クロスカントリースキーとスノーシューイング  
が江別・飛鳥山公園、フロアホッケーが北海道教育大岩  
見沢校です。

同大会のボランティアの問い合わせは主催団体のスペ  
シャルオリンピック日本事務局info@son.or.jpへEメール  
でお問合せください。

### 寄付のお願い

認定NPO法人ランナーズサポート北海道では、北海道のラン  
ニング文化の健全な発展やスポーツボランティアの拡充のため  
に、企業・団体・個人からの寄付を募っています。2013年7月に認  
定NPO法人となったことで、税制上の優遇措置が受けられるよ  
うになりました。寄付をしていただいた個人は所得税と住民税、  
法人は法人税が減額され、納めた税金の一部が戻って来ま

す。いずれも当NPO法人の発行する領収書を所轄の税務署に  
提出して申告することが必要です。クレジットカードによる寄付も  
できます。

詳しくはランナーズサポート北海道ホームページ  
<https://runsupport-h.org>の「寄付のお願い」の項目をご覧ください。

市川敏明さん(上)と山本絢也さん(下)

